

問1 日光が当たっているところのことで、地面が明るく、あたたかくて、かわいている場所を何といいますか。

問2 日光が当たっていない暗いところのことで、地面がつめたく、少ししめっている場所を何といいますか。

問3 地面にできたかげが、時間がたつと動くのはなぜですか。

問4 太陽が南の空を通るとき、太陽の高さはどのようになりますか。

問5 太陽を直接見ると目をいためてしまうため、しゃ光板を使うのはどのようなときですか。

問6 太陽が動くと、それにとまって地面にできたかげも動く現象を何といいますか。

問7 日光をさえぎるものがあるとき、太陽と反対側にできる暗い部分のことを何といいますか。

問8 校庭に、棒（ぼう）や木、人間など、いろいろなものが立っています。太陽の光が当たったとき、これらのかげの向きはどうなりますか。

問9 時間がたつと、太陽はどの方角からどの方角へと動いていきますか。

問10 日光（にっこう）が当たっている場所は、日光が当たっていない日かげとくらべて、どのようなちがいがありますか。

問11 かげができるのは、どのようなことがおこったときですか。

問12 目をいためないように、太陽を安全に見るときに使う道具はどれですか。

問13 温度計を使ってものの温度を正しくはかるとき、ものの温度が伝わるのは温度計のどの部分ですか。

問14 北に顔を向けて立ったとき、あなたの右がわにあたる方向はどれですか。

問15 理科の学習で、あたたかさを表す「温度」を書き表すときに使う、「℃」という記号はなんと読みますか。

問16 温度計の目もりを読むとき、温度計に対して目の向きはどのようにしますか。

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え 日なた	日光が当たっている場所のことを「日なた」といい、地面は明るく、あたたかくて、かわいた状態になります。
問2	答え 日かげ	日光が当たっていない暗い場所のことを「日かげ」といいます。
問3	答え 太陽が動くから	太陽が動くと、それにもなってかげも動くため、時間がたつとかげの位置が変わります。
問4	答え 高いところを通る	太陽は、東から南の空の高いところを通して、西へと動きます。
問5	答え 太陽の動きや形を観察するとき	しゃ光板は、目をいためないように太陽を直接見るときに使います。
問6	答え かげの動き	太陽が動くと、それにもなってかげも動きます。この現象を「かげの動き」といいます。
問7	答え かげ	日光がさえぎられたときに、太陽と反対側にできるものを「かげ」といいます。
問8	答え すべて同じ向きにできる。	もののかげは、どんなものであっても、すべて同じ向きにできます。
問9	答え 東から西	太陽は、時間がたつと東から南の空を通して西へと動いていきます。
問10	答え あたたかい	日光には地面や空気をあたためる性質があるため、日光が当たっている場所は日かげよりもあたたかくなります。
問11	答え 日光をさえぎるものがあるとき	かげは、日光をさえぎるものがあるときに、太陽と反対側にできます。
問12	答え しゃ光板	太陽の強い光から目を守り、安全に太陽を観察するために使う道具をしゃ光板といいます。
問13	答え えきの先（えきだめ）	温度計は、えきの先（えきだめ）にふれているものの温度をはかる仕組みになっています。
問14	答え 東	北に顔を向けると、右がわは東になります。ちなみに、左がわは西になります。
問15	答え ど	温度を表す「℃」という記号は、「度（ど）」と読みます。
問16	答え 直角（真横）にする	温度計の目もりは、温度計に対して直角になるようにして正しく読みます。